

▼別ショットの写真



今月の表紙は、7月24・31日の2日間、渡りとほね運動場で開催された、幸田町子ども会ソフトボール大会での1枚です。  
決勝戦、先制のホームを踏み、両手を挙げて喜びを爆発させる選手。この表情の裏には、優勝を目指して積み上げてきた練習があるのでしょう。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。  
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ  
☎62-1111(内線334) FAX63-5139  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

## こうたの民話

### 鷺田の大鷺

むかし、鷺田には、かしゃくすなどの大木が、うっそうと茂っていました。

中でも、お宮さんのところにあるくすの木は、ひときわ大きな木でした。日本中でも三本の指にはいるのではないかと、もっばらのひょうばんでした。

このくすの木に、いつからか、一羽の鷺がすみつきました。長い間すみついている間に、だんだんと大鷺になるとともに、いたずらもはげしくなってきました。ついには、田の草取りをしているお母さんを待って、あぜ道のかごの中ですやすや眠っている赤ちゃんまで襲うようになりまして。これには、村の人たちは、ほとほと困りはてていました。

この辺りを治めていた、鎌田のひょうえのじょうは、

「もう捨てておけぬ、あの大鷺を討て」

と、けらいの大伴のただよしというお侍さんに命じました。

ただよしは、ある朝、六条の松の木の前、大鷺の大好きなにとり

を置き、自分はその松の木の後ろに身をかくして、じっと待っていました。そして、大鷺がさっとまいおり、えものをとらえようとした時、木のかげからただよしはぱっとおどりでした。そこで大鷺は、ねらいをにとりからただよしに変えました。と、そのとき、朝日の光が大鷺の目をくらましました。くらくらとしたしゅんかん、ただよしはひょうと矢を放ちました。ただよしの矢は見事大鷺の体を射ぬきました。

「大伴のただよし、あの大鷺を射止めたり」と、大声で名のりをあげました。

大鷺は、もうあのくすの巣にはもどらず、大空をよたよたと西の方へ飛び去って行きました。

しばらくして、村の人たちは、あおみの郡(碧海郡)に、つばさを広げると二ひろもある大鷺がたおれていた、といううわさを耳にしました。「さすがにあの大鷺だ。あそこまでも飛んでいったのか」

と、鷺田の村の人はおどろきました。

【こうたの民話より】

## みんなの作品展!

平成28年度 春の文化展(ちぎり絵)からのセレクトです



ひらまつ きょうこ  
平松 京子 さん



うづの  
宇都野力ナエ さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮り、タイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

## 「てっくらがる」

「てっくらがる」

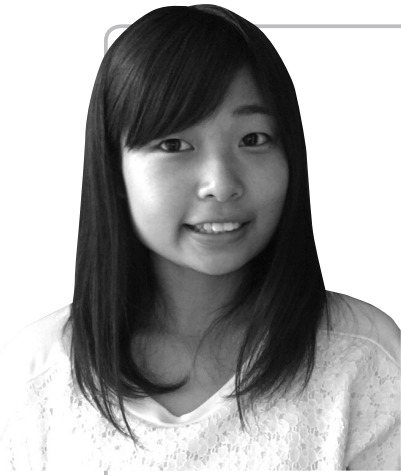
9月19日は「敬老の日」。膝が悪いおばあちゃんへのプレゼントは、やっぱり「転ばぬ先の杖」……  
「いいえ、てっくらがることないだらうで、あんきたわ」

「これでもう転ぶことはないでしょうから、安心だよ」  
という意味です。

この「てっくらがる」、意味も近い「ひっくらがる」「なら、引っ繰り返る」の転だと言明して終わりますが、「ひ」が「て」に変わっただけで、そうはいきません。

そこで、もう一つの似た言葉で「んぐり返る」を辞書で引いてみました。すると、「①手を地面につき、体を前方または後方に回転させて起きる。②引っ繰り返る。」と出てきましたので、肩車をこの地方では「でんぐるま」といい、これは「手車」が転じたものだ、以前、小欄で述べたことを思い出しました。これがなんと、「でんぐるま」と濁るところもあるのです。

このようなことから、「でんぐり返る」は、「手繰り返る」が転じたものとの結論に至りました。「てっくらがる」も必然的に、この「手繰り返る」が転じたものとなりますが、意味は「でんぐり返る」の②で、①の意味では「けーくる」とこの地方では使い分けています。  
(文・こむぎ)



青春  
トークリレー  
第282走者

にしやまあすか  
西山明日華さん

横落区在住 19歳 職業 学生  
血液型 B型 身長 152cm  
好きなタイプ 一緒にいて楽しい人  
好きな芸能人 竹内涼真

私は、現在短期大学に通っています。医療系の学校なので勉強はとて大変ですが、毎日がんばっています。学校の授業や実習で、お年寄りの方と関わる機会が多いです。その時に「幸田町から通っています。」というほとんどの人が幸田町を知ってくれていて、しだれ桜がきれい、筆柿がおいしいと言ってくれます。もっと多くの人に幸田町を知ってほしいと思いました。

大学に通わせてもらい、多くの人と関わる機会が多いということはとても幸せなことです。今年で20歳を迎えますが、支えてくださっている周りの人に感謝し、少しずつ恩返しをしていけたらいいと思います。



はろー  
キッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
企画政策課までご連絡ください。  
本人のご家族にお渡しできます。



「楽しい夏遊び☆」  
プール遊びにセミ採りと暑さに負けず夏の遊びを思いきり楽しんでいる子どもたち。深溝保育園では、夏の一大イベントの夏遊び会がありました。年長の子どもたちは本番に向けて「おぼけやしき」や「ゲーム」などアイデアを出し合いながら楽しいものを作ろうと取り組んできました。楽しいものを作るにはまず自分たちが楽しむこと！制作や飾りつけなど準備をする

わんぱくぐだより  
「某月某日」  
「深溝保育園」

中で元気な声や笑顔が広がりました。また、子どもたちの中には小さい子たちを喜ばせたいという思いがあり「小さい子は泣いちゃうからかわいいおぼけになっであげよう。」と年下の子の目線になって考える姿がありました。  
そして本番では、エプロ



ンやはつぴを着たり変装をしたりと気分はお祭り！「いらっしやいませ！」と元気よく小さなお客さんを招いて一緒に夏ならではの遊びを楽しみました。夏遊び会を通して考えたり、友達と協力したりみんなで作りに上げることを経験した子どもたち。また少しお兄さんお姉さんになりました。

黒のポロシャツでもやせて見えないと指摘をいただきました編集者のKです。  
最高に暑かった今年の夏、皆さんの一番の思い出は何でしょうか？私は、はりきって海の日に海水浴へ出掛けたら、まだ海が冷たくてまったく入る気が起きなかつたこと...。  
気を取りなおしまして、7月30日に開催された彦左まつりにお邪魔してきました。当日の日は真夏日で危険な予感がしていました。午後5時から中央公園で開会セレモニーが開催されるころには日がかたむいてきて、さわやかな風も吹き、比較的過ごしやすい中で彦左行列がスタートしました。毎年、各学区コミュニティと企業の彦左行列を撮影してまわっているのですが、ある時「今年のナンパーワン彦左はどれですか？」と聞かれ、確かに今年のベスト彦左一心太助などコンテスト形式で決定するのもおもしろいなと思っただけがありました。でも、何時間も前から化粧や着替えの準備をしてスタートを待つ仮装メンバーからすると、大変ですよ。参加者の皆さんお疲れさまでした。  
さて、今月は9月17日に愛知駅伝幸田町代表選手選考会が中央公園で開催されます。代表の座を目指してどんなレースが繰り広げられるか今から楽しみです。(K)

ちょっと  
編集者の  
わんぱくぐだより